

これまでの調査の経緯

平成27年まで

○東京都では、国通知に基づいて5年毎に東京都看護職員需給見通しを作成(第5次:H14~18、第6次:H19~23、第7次:H23~27)

○需給見通し策定にあたり、検討会を設置したうえで、看護職員就業等実態調査を実施

平成28年から

国の方針により、「施設からの調査回答に基づいた需要数を積み上げた『需給見通し』」ではなく、「地域医療構想に基づいた必要病床数から2025年時点の需要数を算出する『需給推計』」を行うこととした。

※ 現在、国が推計方法を検討中

需給見通し策定のための調査が不要となったことから、平成27年度以降、看護職員就業等実態調査を実施していない。

きめ細かな看護職員確保対策を講じるため、都内看護職を取り巻く実態を把握する調査が必要

調査目的

医療機関や各種施設の管理者、看護職員等を対象に、就業実態や就業意向等に関する実態を調査し、今後の看護職員の確保対策を講じる上での基礎資料とする。

調査概要

【調査①】
管理者に対する調査

- 調査対象
医療機関や各種施設の管理者
- 調査時期
毎年度実施
- 調査内容(案)
 - 職員の状況について
 - 職員への支援について
 - 都の事業等の活用状況について
 - 施設間連携について 等

【調査②】
従事者等に対する調査

- 調査対象
 - ①従事者 ②離職者
 - ③看護学生及び教育機関・養成施設
- 調査時期
3年で一巡するように実施
- 調査内容(案)
 - 従事者：職歴、今後の働き方
 - 離職者：離職理由、再就業意向
 - 看護学生：修学状況、卒業後進路
 - 教育機関・養成施設：教員や学生の状況

活用方法

《保健医療計画に掲げる取組の推進》 (調査項目 ⇒ 具体的取組)

養成

- 「従事者」や「看護学生」が看護職を目指したきっかけ ⇒ **中高生への働きかけや多様な人材の確保**
- 「看護学生」が就職先を決めた理由、「管理者」の新卒者確保の取組 ⇒ **新卒者の都内就業促進**
- 「看護学生」の在宅分野に対する意識、「教育機関等」のキャリア教育 ⇒ **在宅分野への誘導**

定着

- 「従事者」が職場を選んだ理由、「管理者」の職員定着の取組 ⇒ **働き続けられる勤務環境改善の促進**
- 「従事者」の職務満足度、「管理者」の職員支援 ⇒ **新人・中堅・ベテラン等経験に応じたサポート体制**
- 「離職者」の離職理由、「従事者」が受けている支援 ⇒ **多様なニーズに対応した働き方支援**
- 「従事者」の今後の働き方、「管理者」が求める職員像 ⇒ **専門分野・課題対応研修の充実**

再就業

- 「従事者」の希望する働き方、「管理者」の支援 ⇒ **再就業希望者のニーズに合わせた働き方の提示**
- 「離職者」の復職にあたっての不安、「従事者」が職場を選んだ理由 ⇒ **復職支援研修の充実**